

# Bauhaus Project



Architecture  
Presentasion

architect  
Atsushi Itou

Studio A.I.A



建築家と建てる家を、  
身近に、手軽に



R+house



BAUHAUS.

The house satisfies the functions,  
and it's strong and are cheap and there should be it beautifully.



室内干しスペース  
階段下のデッドスペースを有効活用。  
脱衣室を狭くすることなく室内干しスペースを確保。

### — Request —

#### 洗面は独立型を希望

洗面・脱衣室（バスルーム）を一緒にのスペースにすると誰かがバスルームを使用している時は洗面が使いづらいということがあるため、しっかりと分けてある。  
これで洗面、脱衣の使用もスムーズになる。

### — Request —

#### 対面キッチンと隣り合わせの ダイニングテーブル、料理中や食事中も テレビを見ながら楽しく過ごしたい。

家具計画も含んだ設計で引渡し後も理想通りの暮らしを実現。キッチンからは LDK 全体を見渡せるだけでなく、2 階の様子もうかがうことができるので家族全員の気配も感じながらキッチンに立つことができる。またキッチン前の階段の延長線上には窓があり、キッチンにいながら空を見上げることができる。

### — Request —

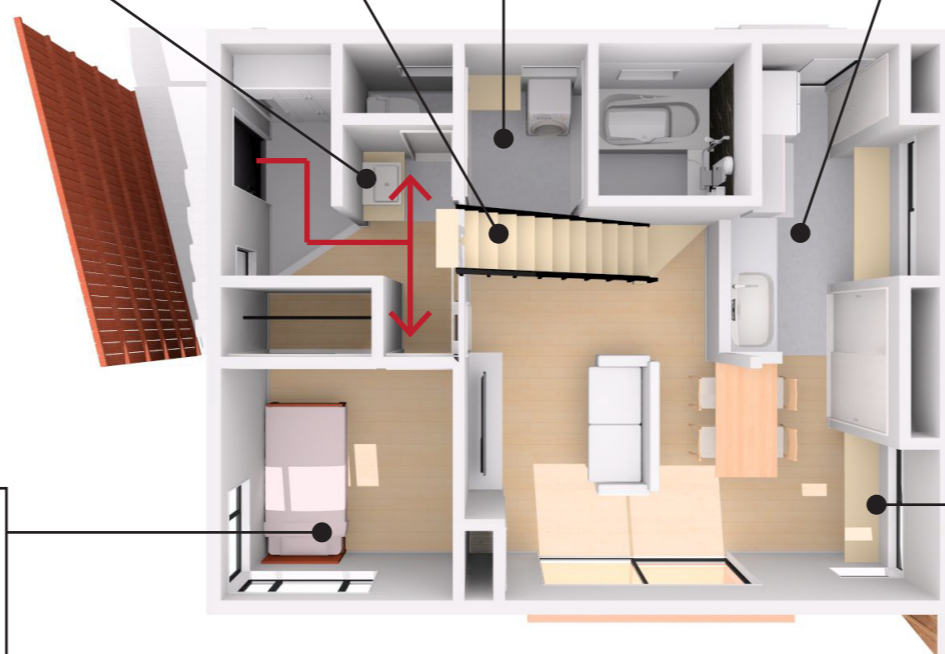
#### 玄関からリビングを通らずに洗面・脱衣に行けるような導線。

希望通りの動線を確保。尚且つ自室からもリビングを通らず洗面に行ける。  
水回りは特にプライバシー性が高い為、他の部屋との位置関係は重要である。

### — Request —

#### 同居するお母様の個室の位置は廊下を挟んで リビングから独立させたい。

同居するお母様のため、プライバシー確保を特に重要視。  
施主様の希望をそのまま反映させると、どうしても面積が大きくなり、無駄なスペースも予算も増えてしまう。  
担当建築家は予算内にまとめるため、クローゼットやテレビの位置にもこだわり他の部屋と一定の距離を保つ設計とした。



### — Request —

#### LDK に PC スペースと子どもの勉強スペースがほしい。

LDK を広くすることは可能だが、予算に限りがある。空間を有効活用することで予算を上げずに理想を叶える。

子どもが大きくなるまではパパの PC スペースとして、子どもが大きくなったら PC スペースを階段下に変更。

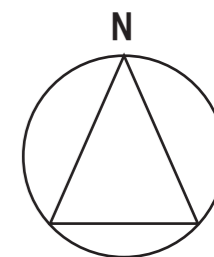
10 年後、20 年後の姿も考える建築家だからこそ可変性のある無駄の無いプランが可能となる。

### — Request —

#### リビングは家族が集まる場所、開放的にしたい。

ウッドデッキ側に大きな窓を設け、視線を広げることで開放感を演出。

そして外からは死角となるため、カーテンを全開にしても外からは見えにくいように設計。



## — Request —

**クローゼットは寝室と別にしてほしい。**

クローゼットは寝室とは別という希望だったが、そうすると面積が広がり予算が上がるので  
寝室の一角に半個室としてウォークインクローゼットを設置することにした。

入口にロールスクリーン等で仕切れば個室のようになり、夫婦どちらかが就寝中でも  
気兼ねなく使用することができる。

キッチンから見上げた先にある窓。  
キッチンに立っていながら空を見上げることができ、  
より開放感を感じられる。



## — Request —

**子どもが大きくなったら夜勤になるので  
昼間に就寝することになる。**

**昼間でも熟睡できる寝室にしてほしい。**

夜勤明けでも、ゆっくりと眠れるように静かな北側に主寝室を  
設け、子ども部屋から一定の距離を保った配置。

## — Request —

**子どもが幼いので今は個室は不要だが将来的には3人子どもが欲しいから  
3部屋に分けられるようにしたい。**

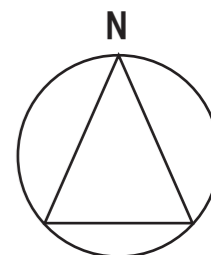
現時点では個室は不要ということで、オープンなスペースとした。

家族全員で寝たり、室内干しのスペースになる。

個室が必要になった場合は、部屋の外に勉強机を設置。

そうすることで各個室のスペースをより有効的に広く使うことができる。

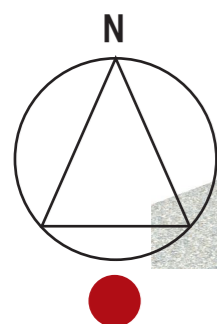
10年先の暮らしも考慮した可変性のある間取りを提案。



— Request —

**将来、太陽光を設置したい。**

太陽光の効率も考慮し南向きの片流れとしている。  
また太陽光設置の場合で構造計算をしているため  
耐震性も安心。



— Request —

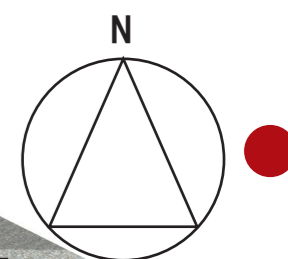
**開放感のある LDK。**

LDK からウッドデッキの方に視線が抜けて、室内がより広く感じる。  
庭とのつながりを意識し、LDK にいるときに、より広がりを感じられるよう大きいサイズ  
の窓を設置。

— Request —

**洗濯物は庭に干すのでバルコニーは不要。**

寝室は2階がメインとなるので布団を簡単に干せるようにバーを設置。  
人目にふれないように家の裏となる東側に設けた。

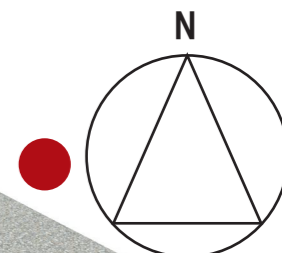
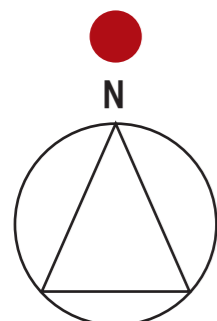


— Request —

**道路に面しているなので視線が気になる。**

**玄関を開けっぱなしにしても室内が見えないようにしてほしい。**  
袖壁と杉のルーバーで目隠しをしつつ、外観を引き締める役割も兼ねている。

道路側となる、お母様の部屋は、外から室内が見えないように高い位置  
に窓を設けた。室内からは外に向く視線が高くなるので開放感を得られる。



# 熊本風配図

起床時

夏

冬

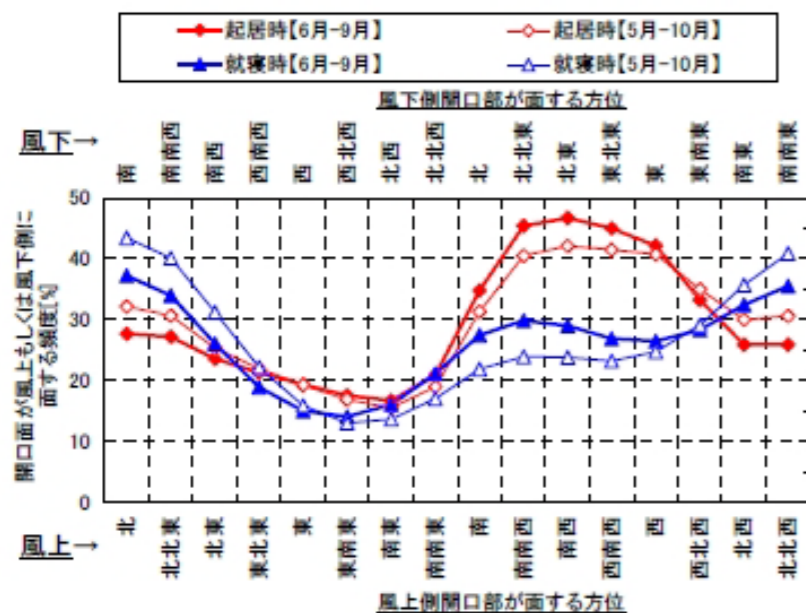
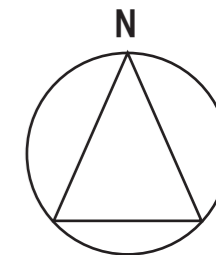


図1 開口部が風上側、風下側に面する頻度

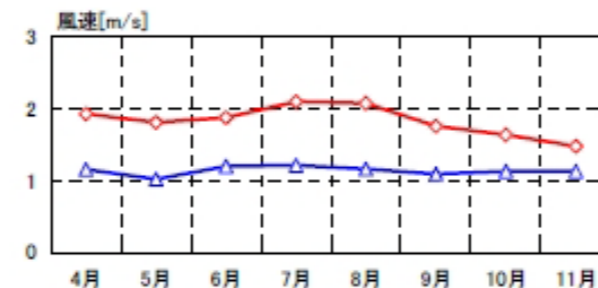


図2 平均風速

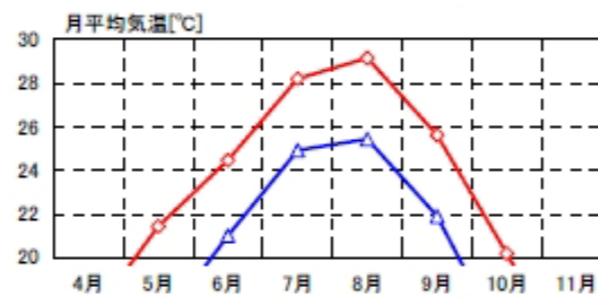
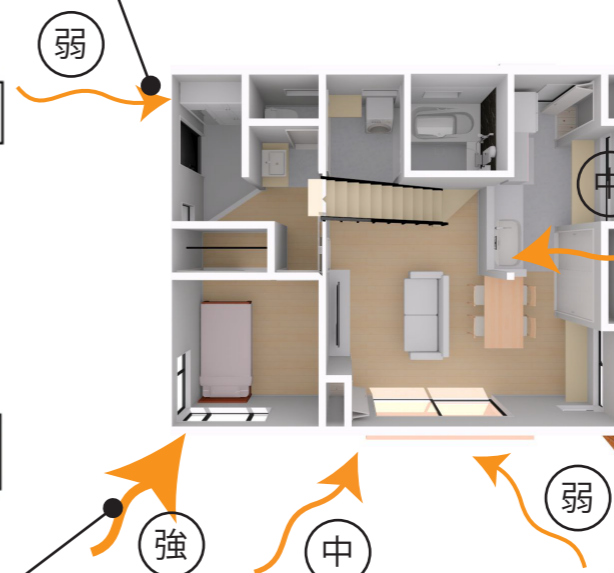


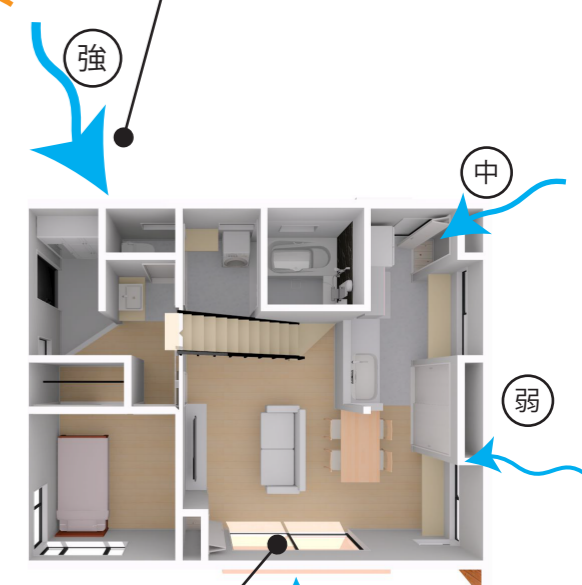
図3 平均気温

西からの風が  
緩やかに入る。



南西からの強風をまともに  
受けたくないような窓位置。

北北西からの  
強風からは守る。



LDKのメインの窓を開けても  
強い冬の風が入らない。

就寝時

夏

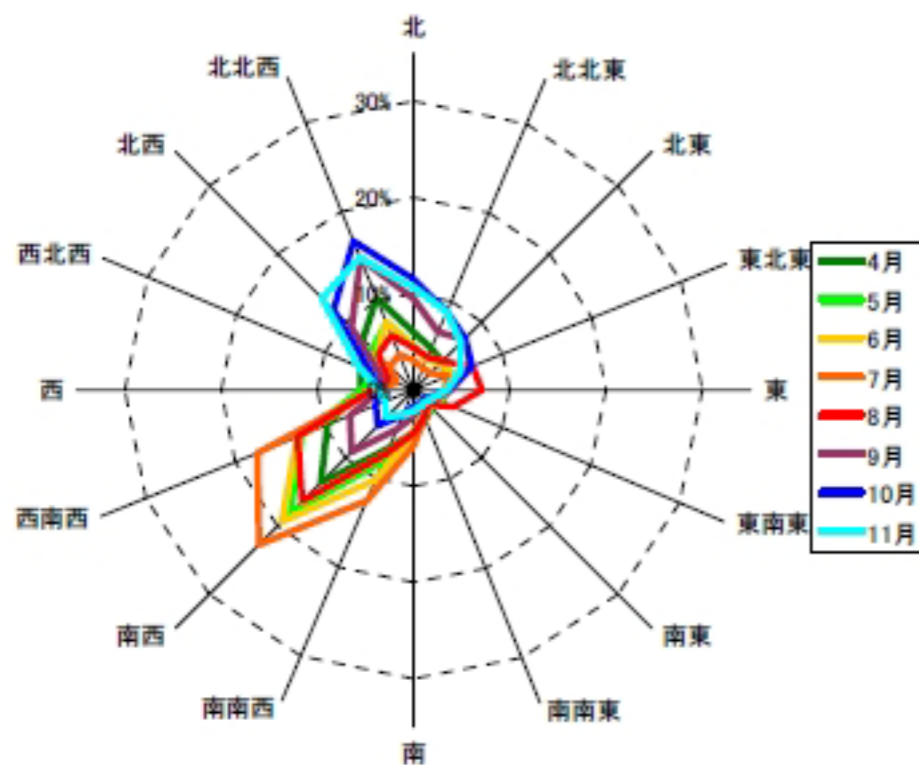


図4a 月別風配図(起居時)

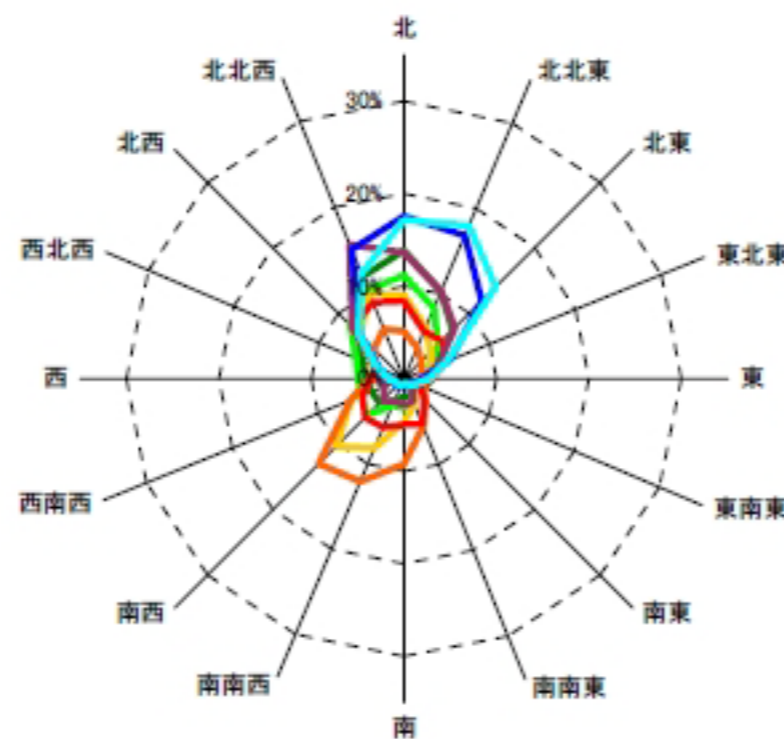
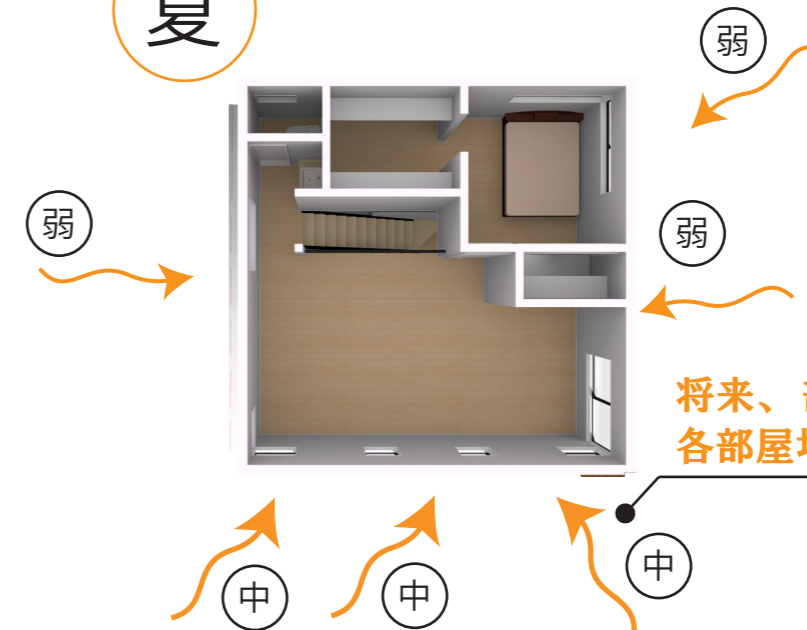


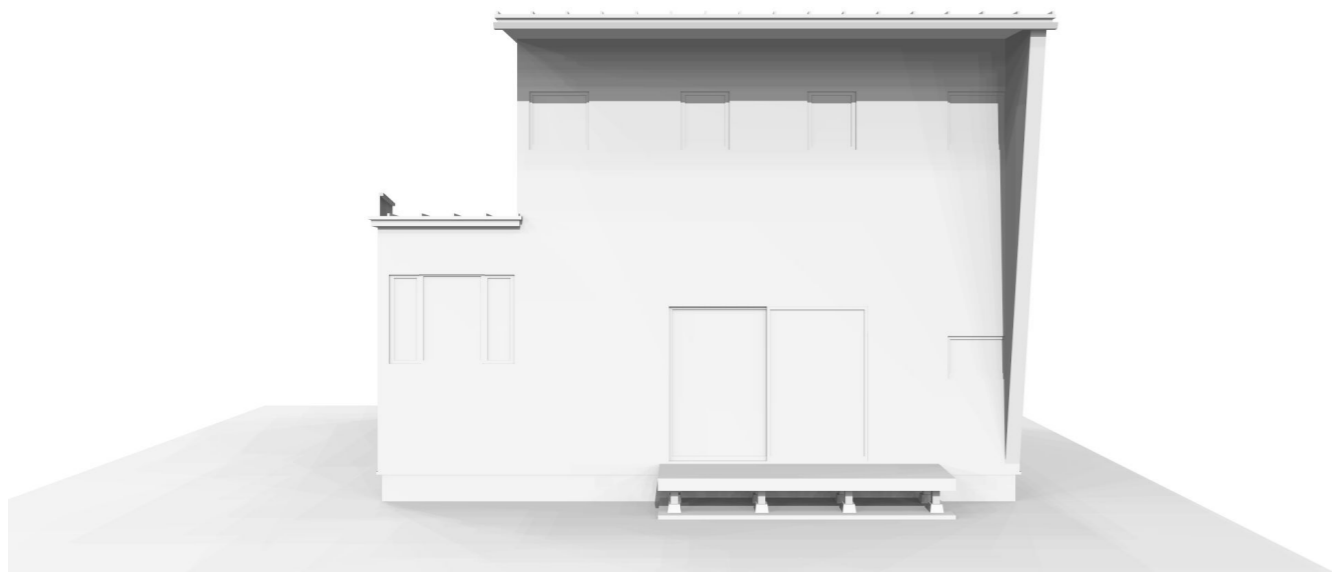
図4b 月別風配図(就寝時)



将来、部屋を区切っても  
各部屋均等に風が入る窓位置。

冬は部屋の奥まで光を取り込み暖かく、夏は窓から入る直射日光を避け、涼しく  
自然の力を最大限活かしたパッシブ設計。

真冬午後 1 2 時



真夏午後 1 2 時

